

# CSR REPORT



みなさまに信頼され必要とされる企業であるために

# CSR REPORT



みなさまに信頼され必要とされる企業であるために

目次

- トップメッセージ
- 事業活動と社会的責任
  - 企業理念
  - 経営理念
  - お客様の定義
  - ミッション
  - 企業価値
  - 行動基準

## コンプライアンス

P6 ~

- ・シーレックスグループ「倫理綱領」
- ・コンプライアンスの推進
- ・コンプライアンスの推進体制
- ・コンプライアンス教育
- ・企業倫理相談窓口の設置
- ・セクハラ・パワハラ・メンタルヘルス相談窓口の単一化
- ・公正な外注取引への取組
- ・危機管理体制の整備

## 品質保証

P9 ~

- ・品質保証の推進体制
- ・シーレックス品質方針
- ・2009年度「教育内容」
- ・2009年度の活動
- ・プライバシーマークの取得
- ・社員教育
- ・2009年度「教育資料」
- ・シーレックス個人情報保護方針

## 社会性 パフォーマンス

P11 ~

- ・2009年度人財育成
- ・管理職研修
- ・テーマ別研修
- ・新入社員研修
- ・フォローアップ研修
- ・通信教育講座
- ・改善提案制度
- ・基本的人権の尊重
- ・労働安全衛生
- ・健康管理・健康増進
- ・AED(自動対外式除細動器)
- ・防災対策
- ・地域社会との共生
- ・ボランティア活動
- ・清掃活動
- ・工場見学
- ・マッチングギフト
- ・エコキャップ運動の推進  
使用済み切手
- ・テレホンカードの回収
- ・献血
- ・利府リトルリーグ
- ・朝来市たたらぎ湖マラソン

## 環境 パフォーマンス

P15 ~

- ・環境マネジメント活動
- ・環境教育
- ・チャレンジ25
- ・化学物質管理
- ・グリーン購入の推進
- ・エコドライブ推進
- ・シーレックス環境方針
- ・環境マネジメントシステムの推進
- ・PDCAサイクル
- ・エコプロダクト・環境配慮型製品
- ・環境ビジョン2009年度評価
- ・省エネルギーへの取組み
- ・廃棄物の再資源化への取組み

## トップメッセージ

### 社会に貢献し社会から信頼され、必要とされる企業をめざします

シーレックスは、事業活動そのものである“ものづくり”を通じて、社会に貢献し、社会から信頼され、必要とされる企業を目指し、創業以来「創造」の精神を原点に歩んでまいりました。そして今年、創業75周年、会社設立50周年を迎えることができました。お取引先様をはじめ、これまでお世話になったすべての皆様の、長年にわたる温かいご支援と変わらぬご厚誼に心より御礼申し上げます。

2007年度にスタートした中期経営計画の中で、設立50周年（創業75周年）に向け基本方針を「原点回帰＝次の50年を見据えて」と定め、この3年間全社一丸となって邁進してまいりました。3年前と現在では経済状況が大きく変わりましたが、私たちのCSR活動は変わることなく4つの柱「人権尊重」「お客様保護」「環境保護」「社会貢献」を重点テーマとして取り組んでまいりました。なかでも、「環境保護」では“産業廃棄物の削減”と“リサイクル率98%以上”を目標に取り組み、2009年度も達成することができました。また「社会貢献」では、各営業所・工場単位でそれぞれが清掃活動、地域主催のイベント参加やボランティア活動などを行うなど、地域社会と共生するという意識が会社にはしっかりと根付いたことを実感しております。これからも社会の一員として、よき地球市民として、積極的な活動を行ってまいります。

### より良い社会・持続可能な社会の実現に向けて

シーレックスは2004年に作成した「新・創業宣言」をすべての企業活動の基盤としています。「新・創業宣言」は、「企業理念」「経営理念」「お客様の定義」「ミッション」「企業価値」そして「行動基準10か条」から成り立っています（詳しくは次ページ以降に掲載）。私はこの「新・創業宣言」をシーレックスの一人ひとりが正確に理解し、日々の業務の中で実践していくことが、社会やステークホルダーの皆様に対する責任を果たすことであり、より良い社会、持続可能な社会の実現に寄与できると確信しております。

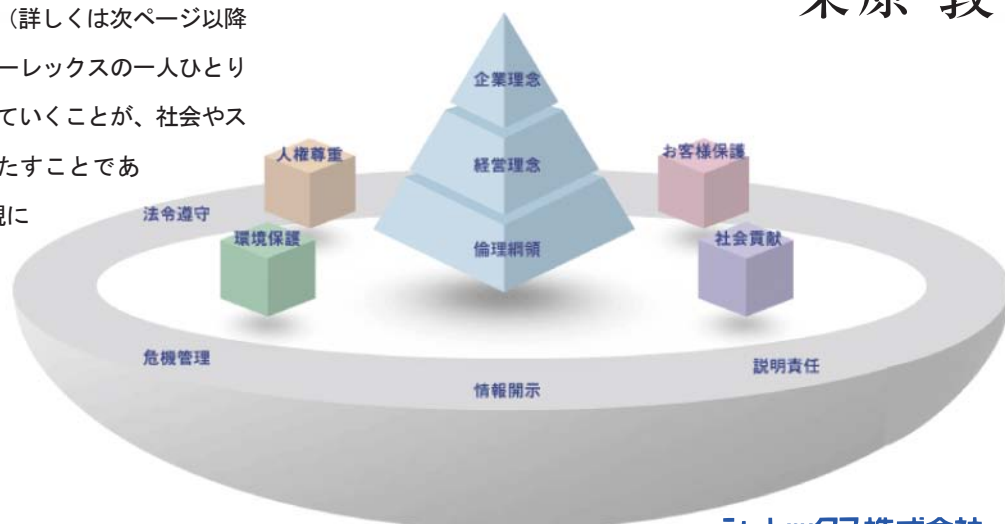
### 「100年企業」を目指し、いま新たな挑戦へ

シーレックスは「これまでの伝統を大切に守りながらも、絶えず変化する環境に適応するために常に変化し続ける」とともに、「世の中に必要とされ続ける」会社として、「100年企業」を目指してまいります。

2010年7月

シーレックス株式会社 代表取締役社長

栗原 敦



## 事業活動と社会的責任



Seal"+"Extension"="Sealex"  
シール印刷の可能性の拡大に向けて加速中です。



シーレックスは、さまざまなシールラベルの開発と進化の全てに関わり、その可能性を拡大させてきました。社名“Sealex”の由来は“Seal+Extension”。まさに「可能性の広がり」そのものをその名に託しています。そしてシーレックスは、いま新たな一歩を踏み出しました。つねに商品に魅力的な付加価値をもたらすシール・ラベルの世界を基盤に、人と人とのコミュニケーションを広げる新しい情報発信メディアの世界へ。Imagination（想像力）の翼を身体いっぱいに広げて、シーレックスは次代への挑戦を加速させます。

### ● 企業理念

創業者の精神・伝統の原点「創造（クリエイティブ）」

創業以来、シーレックスの歴史はまさに「創造」の連続でした。日本専売公社の煙草値上げシールの全量一括受注から始まり、ラベリングシステムの販売。製版の内製化。一連の業務のコンピュータ化。SPシールの製造及びカタログ販売。多層ラベルの製造販売などなど過去四十数年、シーレックスは業界に先駆け、新しい仕事、新しい市場、新しい需要、新しい商品、新しい仕組み、新しいサービス、新しい価値を「創造」してきました。これからも、未来永劫、シーレックスは「創造」の精神を原点に活動していきます。

### ● 経営理念

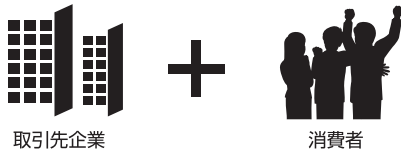
経営者の哲学・思考

シーレックスは「高い志をもってあらゆることに挑戦する気概に満ち溢れる会社」「変化に柔軟に対応して世の中の半歩先を行く意味でのタイムリーでスピーディーに実行する会社」「他社、他人には絶対に負けない匠をもっている会社」になることを理念としていきます。

「挑（チャレンジ）」  
「速（スピード）」  
「匠（プロフェッショナル）」

# 事業活動と社会的責任

## ● お客様の定義：シーレックスのお客様の範囲・定義



シーレックスのお客様はこれまで実際にご注文を頂いている「取引先企業」が全てでした。しかし、企業の社会的責任の範囲が広がってきたことから実際に我々の作り上げたシールラベルを実際に手に取り、見て、読んで、使用される「消費者」の方々まで「お客様」の範囲を拡大することが急務であると考えます。従って、シーレックスの社員には常に「取引先企業」そして「消費者」の方々のことを考えて仕事を進めていくことが求められます。

## ● ミッション：企業としての存在意義・基本的な使命

お客様に「安心」と「便利」そして「満足」と「悦び」を提供する。

シーレックスがこの世に存在する意義は何なのか？シーレックスがこの世に存在し果たすべき使命は何なのでしょう？それは時代時代に移り変わるお客様の要求に応じたシールラベルを提供することによって、お客様の毎日の生活に「安心」と「便利」を提供することであります。また、我々が作り上げたシールラベルの品質、価格、納期などについてお客様に「満足」を提供すること、更にはお客様がシールラベルを見たり、触ったりすることによってお客様の生活に「悦び」を提供すること。それがシーレックスの存在意義であり使命です。

## ● 企業価値：お客様に提供する価値の本質を凝縮して一言で表現したもの

ハードとソフトを兼ね備えたシール・ラベルのコンビニエンスストア

シーレックスがお客様に提供するべき価値は何なのか？同業他社ではなくシーレックスをお客様に選んで頂くための価値をどこに求めるのか？それは、ただ単にお客様から頂戴した原稿をもとにシールラベルを印刷加工し、お客様に提供するというだけでなく、ラベリングシステムやプリンタといったハードと、キャンペーンシステムや企画広告といったソフトを、ありとあらゆるシールラベルと一緒に、小ロットから大ロットまで、多くの種類を、短納期で、廉価で、24時間、365日提供することが出来る会社です。シーレックスがお客様に提供する価値を一言で言えば、「ハードとソフトを兼ね備えたシール・ラベルのコンビニエンスストア」です。

## ● 行動基準：社員に対して日常的に期待される行動指針

シーレックスで働く人々が毎日の仕事に取り組む上で常に念頭において行動して欲しい基準

### 【行動基準10カ条】

- ①お客様の要望に応え、お客様の問題・課題を解決し、お客様の信頼を勝ち取り、お客様を創造する。
- ②新しいアイデアを常に創造し、実行し、そして社会を変革し、社会に貢献する。
- ③何事にも積極的に挑戦し、困難や競争から逃げず、最後までやり遂げる。
- ④当たり前のこと、基本的なこと、平凡なこと、小さいことの積み重ねを徹底し、確実に、正しく行う。
- ⑤いつも明るく、元気に、物事をプラス思考し、未来に希望を持ち、未来を創造していく。
- ⑥ひとりひとりが自立し、仲間とのコミュニケーションを促進し、智恵をだしあい、互いに成長していく。
- ⑦常に変化に適応し、やる気をもって、スピードをあげて実行する。
- ⑧良き地球市民として、地球環境を常に念頭に置き、これを優先して行動していく。  
⇒【環境方針】
- ⑨常にお客様の品質、価格、納期要求を満たす製品を提供し続ける。  
⇒【品質方針】
- ⑩個人に関する情報の重要性を理解し、安全かつ正確に徹底的に管理、保護する。  
⇒【個人情報保護方針】

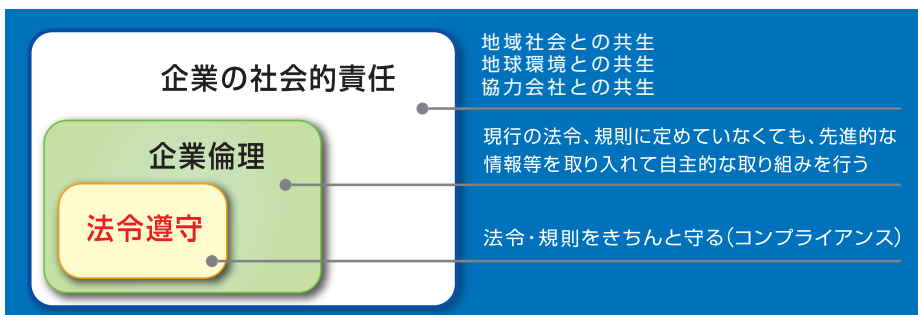
シーレックスグループでは、役員および従業員一人ひとりがコンプライアンスの精神を持ち、社会から信頼され、必要とされる企業を目指して事業活動を進めています。

## 社会から信頼され必要とされる企業を目指して

シーレックスでは、コンプライアンスを単なる法令遵守ではなく、企業倫理や社内規則、規程まで含めた規範の遵守と位置づけています。2004年に制定した「新創業宣言」には行動基準10ヶ条、2005年には「シーレックスグループ倫理綱領」を制定し、役員および従業員一人ひとりが自己規律をもって、行動基準の実践・倫理綱領および法令・社内規則・規程・社会規範を遵守するために周知徹底と浸透を図っております。

### ● シーレックスグループ 「倫理綱領」

私たちシーレックスグループは、公正な競争を通じて利潤を追求すると同時に、広く社会にとって有用な存在でなければならない。そのため経営の根幹となるコンプライアンス（倫理・法令の遵守）の基本を、グループで共有し意識し徹底するために、「シーレックスグループ倫理綱領」を定め、コンプライアンスの徹底に取り組んでいます。



### シーレックスグループ「倫理綱領」 《顧客、取引先、他社、社会との関係》

#### 1. 法令、社内規則、方針の遵守

私たちシーレックスの役員、従業員は、自らの業務に関連する全ての法令、規則及び社内規則、方針を遵守し、また自らの業務に適用される法令、規則及び社内規則、方針上の要請を確認し、理解することは、シーレックス取締役、役員、従業員の責任です。

#### 2. 消費者・顧客の信頼を獲得する

私たちは、常に顧客の満足が得られる信頼性の高い製品とサービスをタイムリーに提供します。そのために、常に品質の継続的改善に努めます。

#### 3. 取引先、協力会社との信頼構築

私たちは、公明正大、自由な競争のもとに、購入先の選定については合理的な判断を行い、購入先や協力会社とは誠実な取引関係を継続して高い信頼を得られるように努めます。

#### 4. 会社情報・製品情報の保全

私たちは、顧客の情報、製品に係わる情報を適正に管理し、目的以外の使用はしません。

#### 5. 接待、贈答等

私たちは、取引先と健全な関係を築き、社会通念を超える接待、贈答の收受はしません。

#### 6. 広告・宣伝等

私たちは、広告・宣伝等の活動で事実と反する表示・表現や誤解を与えるおそれのある表示・表現は行なわないよう努めます。

#### 7. 地域社会との共生

私たちは、良き企業市民としての役割を自覚し、地域社会の活性化に向けてスポーツ・教育振興、自然保護・環境保全、福祉支援等の社会貢献活動を積極的に行ないます。

#### 8. 環境との共生

私たちは、環境保護を尊重し、省エネルギー、省資源、廃棄物削減、化学物質の適正管理など環境保護活動を自主的、積極的に行うとともに環境配慮型商品の開発を行います。

#### 9. 反社会的勢力との対決

私たちは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体の介入は断固として排除します。またどのような名目であっても、いかなる利益供与も行わず、警察等の関係行政と密接に連携し、協力します。

#### 10. 関係官庁、政治家との関係

私たちは、政治、行政とは透明度の高い健全な関係を構築します。

## シーレックスグループ「倫理綱領」 《顧客、取引先、他社、社会との関係》

### 1. 人権の尊重

私たちは、人権を尊重し、差別的取扱を排除します。また男女共同参画社会の実現に努めます。

### 2. プライバシーの保護

私たちは、プライバシーを尊重し、従業員の個人情報の適正な保護に努めます。

### 3. ハラスメントの排除

私たちは、いわゆるハラスメント（嫌がらせ）につながる行為を排除し、公正で明るい職場づくりに努めます。

### 4. 政治・宗教活動の禁止

私たちは、職場において、政治、宗教等の個人的な活動は行いません。

### 5. 勧誘活動の禁止

私たちは、職場において、個人や特定の団体の利益を図るような勧誘活動は行いません。

### 6. 会社財産の適正管理・使用

私たちは、会社の財産を私的な目的で使用しません。

### 7. 健康的な職場環境の維持

私たちは、健康的で安全で働きやすかつ生産的な職場環境づくりを推進し、従業員の福祉の充実に努めていきます。

### 8. 正しい報告

私たちは、事実に基づく正確な記録と報告を行います。

## ●コンプライアンスの推進

企業が社会的責任を果たすためには、社員一人ひとりが法令遵守と企業倫理を徹底することが必要です。

## ●コンプライアンスの推進体制

シーレックスでは2005年4月にCSR推進室を設置し、行動基準の実践・倫理綱領および法令・社内規則・規程・社会規範を遵守するために周知徹底と教育を行っております。



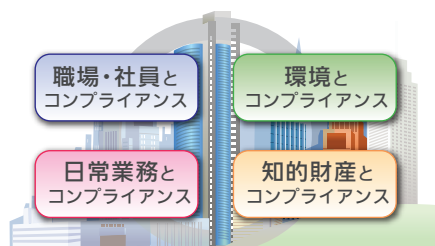
●コンプライアンス推進体制

## ●コンプライアンス教育

2004年に「新・創業宣言」、2005年には「シーレックスグループ倫理綱領」を制定し、これらを確実に実践していくために、シーレックスグループで働く全員が、知らなくてはならない、そして絶対守らなければならない、主要な法令を中心とした「コンプライアンス（法令遵守）ブック」を2006年に作成しました。2009年度には職場・社員、環境、日常業務、知的財産の4分野でのコンプライアンスの改訂版を作成しました。2010年度の教育に活用していきます。



●コンプライアンス(法令遵守)ブック



## ●企業倫理相談窓口の設置

シーレックスでは2006年7月に「シーレックス株式会社、企業倫理相談窓口設置規程」を制定し、企業倫理相談窓口を開設し運営を続けています。通報窓口は、社員だけでなくパート、アルバイト、派遣社員および関連会社の従業員ならびに取引事業者の従業員が利用できます。

万が一、法令・社会規範・会社規程（ルール）・シーレックスグループ倫理綱領に違反する行為を発見した場合、速やかに上司、若しくは企業倫理相談窓口にご相談の仕組みで構成されています。これは、2006年4月施行の「公益通報者保護法」に準拠しています。



●企業倫理相談窓口ポスター

## ●セクハラ・パワハラ・メンタルヘルス相談窓口の単一化

セクシャルハラスメント・パワーハラスメントとメンタルヘルスの外部機関に設けていた相談窓口を、2008年度に単一化し、運営を継続しています。



## ● 公正な外注取引への取組

### ● 下請法の遵守

お客様の多様なニーズに応えるために、当社は数多くの協力事業者によりご支援をいただいています。

公正な外注取引の実現に向けて、特に下請法の遵守については、個々の外注取引を管理する窓口部門に対して、教育および情報提供を実施しております。

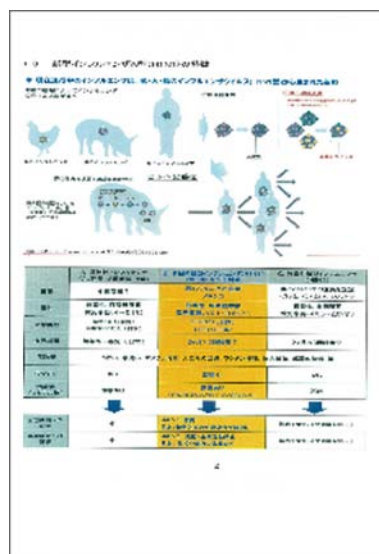
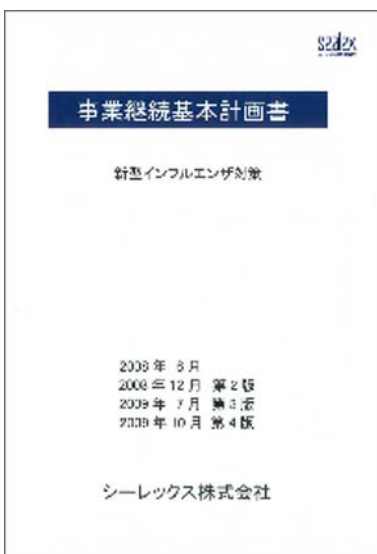
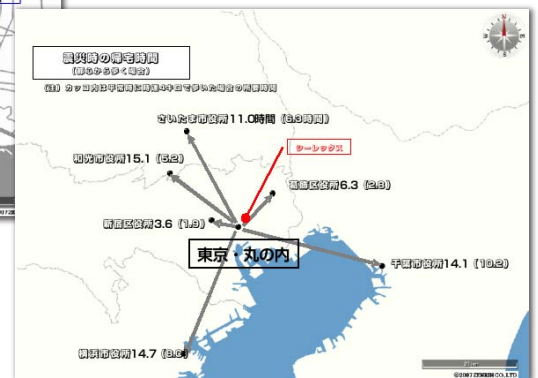
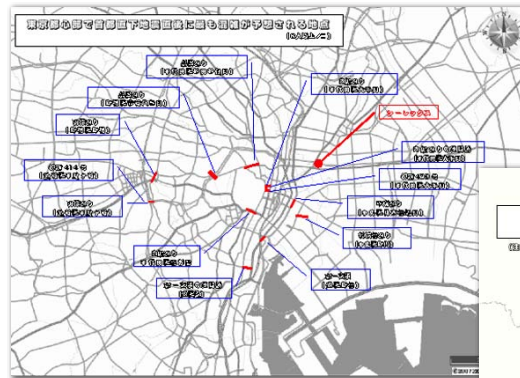
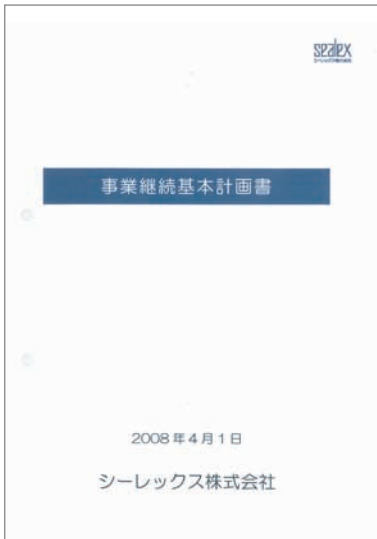
### ● 基本取引契約書の取り交わし

当社では、すべての協力事業者の間で「基本取引契約書」を取り交わし、公正かつ透明性の高い外注取引慣行の確保運用に努めています。



## ● 危機管理体制の整備（シーレックス事業継続計画書の策定）

昨今、大地震や大規模風水害などの自然災害、製品事故、情報システムの障害など、企業の経営基盤を揺るがす様々なリスクが続発しています。このような被害を未然に防止、回避させるため、また発生した場合には被害、影響を最小限にするためにBCP（事業継続計画）が必要となりました。当社では2007年度に工場中心のBCPの作成、2008年度は首都圏直下型地震を想定と新型インフルエンザ対応としてのBCPを作成しました。2009年度は事業継続計画に沿った訓練の実施と運用の見直しを行う予定でありましたが、計画書の一部改訂だけになりました。



事業継続計画書 インフルエンザ

インフルエンザの脅威

2010年度 シーレックス事業継続計画書に沿った訓練の実施と運用の見直しを図り、事業継続マネジメント（BCM）として展開していきたいと考えております。



# 品質保証

## お客様と、ともに築く品質保証マネジメント（QMSの維持・改善）

シーレックスは、お客様へ、常に最良・最適の品質で安心・安全な製品とサービスを提供するために、社会的な品質保証の強化を推進しています。顧客満足度の更なる向上を目的に品質保証マネジメント（QMS）の維持・改善に取り組めます。

### ● 品質保証の推進体制

シーレックスの品質保証体系は

- ① 供給製品自体の要求事項への適合
- ② モノ造りに携わる人への力量教育
- ③ 製品を作る上での管理施策
- ④ 製造に伴う設備機器と環境整備

など、顧客満足向上を目指し、品質保証マネジメントシステム（QMS）の維持・改善に全社を挙げて取り組んでいます。

### シーレックス品質方針

シーレックス株式会社は、シール・ラベルの製造において、顧客満足の向上を目指すために、全員で品質マネジメントシステムを確立し、品質の継続的改善・向上を行う。

2001年12月18日 制定



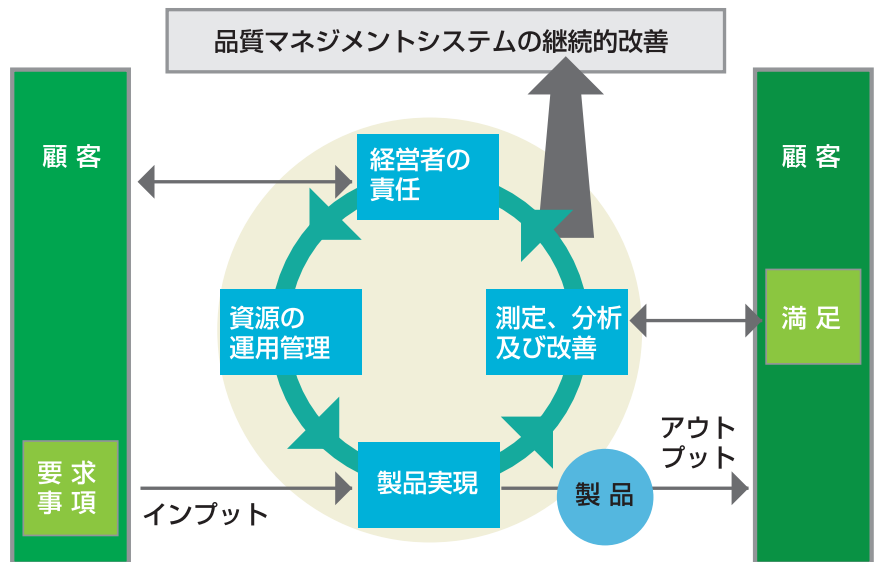
**QMS、EMS**  
ISO 9001  
ISO 14001  
JSAQ1406、JSAE109

### ● 2009年度の活動

シーレックスが考える「品質保証」は単なる生産部門や品質保証部門だけが携わる問題でなく、お客様に対し最良・最適の品質で安心・安全な製品を適正な価格で納期通りにお届けするため、営業・開発、企画から製造・デリバリーに至るすべてのプロ

セスの品質を保証する考え方で取り組んでおります。

2009年度においては、品質マネジメントシステムがより有効に機能させるため、3つのマネジメントシステムの同時教育の実施と内部監査も同時に実施しました。



→ 価値を付加する活動    ▶ 情報の流れ

### ● 2009年度「教育内容」

シーレックスでは「教育訓練」を通じて「自主管理レベルの向上」を図り、マネジメントシステムの運用により、お客様の期待を上回る成果を出し、お客様の満足を高め、世界一の品質を実現する原動力として日々改善に努めております。また、2009年度の定期維持審査で2008年版移行確認も行われました。

#### 2009年度

**QMS 品質マネジメントシステム**

**EMS 環境マネジメントシステム**

**PMS 個人情報保護マネジメントシステム**

の「**全社教育プログラム**」

**テーマ：原点回帰のモノ作り**

教育プログラムを通じて、次の内容を理解頂きます。

1. マネジメントシステムに適合することの重要性及び利点
2. マネジメントシステムに適合するための役割及び責任
3. マネジメントシステムに違反した際に予想される結果

### 2009年度 教育・監査計画書

#### 9月...教育訓練

日	月	火	水	木	金	土
8/21	8/21	9/1	2	3	4 兵庫	5
6	7 大阪	8 大阪	9	10	11 大阪	12
13	14	15 本社	16 足立/本社	17 本社	18	19
20	21	22	23	24	25 兵庫	26
28	29 東北	29 東北	30			

#### 10月...内部監査

日	月	火	水	木	金	土
				10/1 兵庫	2 兵庫	3
4	5 大阪	6	7	8 岐阜・名古屋	9	10
11	12	13	14 足立	15 本社	16 本社	17
18	19 福岡	20 広島	21	22 東北	23 東北	24
25	26	27	28	29	30	31

#### 11月...MR&本審査

日	月	火	水	木	金	土
11/1	2		4 M/R予定	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16 審査	17 審査	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

## 情報リスクマネジメント

### お客様からお預かりする個人情報の安全管理は私たちの命題です。

シーレックスは「個人情報保護方針」を掲げ、すべての社員に情報管理の適正な運用、情報取り扱いにおける事故撲滅を命題として推進しております。

#### ● プライバシーマークの取得

シーレックスは2003年にプライバシーマーク（JISQ15001）を全社で取得以降、管理体制の構築を推進しています。2006年に規程およびコンプライアンスプログラムを抜本的に見直し、プライバシーマーク（JISQ15001:2006）に適合した個人情報保護マネジメントプログラム（PMS）を構築して個人情報の安全管理に取り組んでいます。

2009年7月には3回目の更新審査を受けました。

#### ● 社員教育

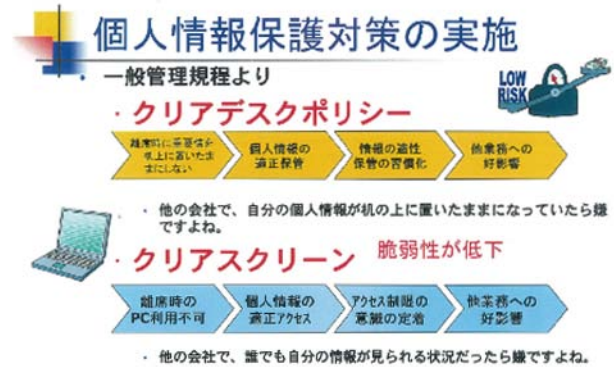
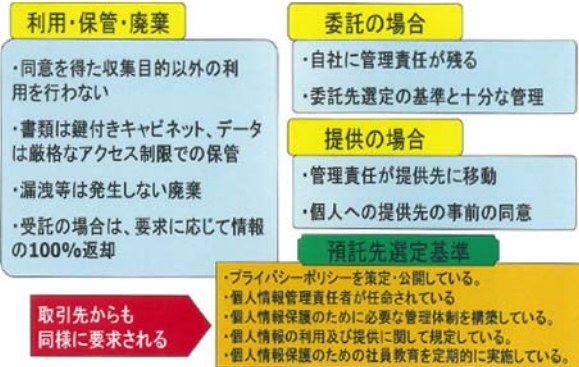
シーレックスは個人情報保護教育を重視し、個人情報保護方針、個人情報保護規程等を中心に全従業員に教育を推進しました。2009年度は3つのマネジメントシステム（ISO9001・ISO14001・JISQ15001）同時教育および同時監査を行いました



● プライバシーマーク

#### ● 2009年度「教育資料」

##### 注意するポイント



## シーレックス個人情報保護方針

### ○ 基本理念

当社は、創業者の精神・伝統の原点である「創造（クリエイティブ）」という企業理念に基づき、新しいサービス、新しい価値を創造してまいりました。この企業理念実現の基盤の一つとして、当社は、社会の一員として企業の社会的責任を果たすことが非常に重要な活動であると考えております。

今日、個人情報保護は企業としての重要な社会的責務であり、当社においても最も重要な活動の一つとして位置づけ、当社の事業ドメインである、シール印刷に関連したサービスや商品提供において、個人情報保護活動は、社会的責任を果たすだけでなく、お客様のみならず、あらゆるステークホルダー（利害関係者）に「安心」や「満足」をもたらす新たな価値創造であると考えております。

このため、当社では、個人情報保護についての「個人情報保護マネジメントシステム」を制定し、お客様やステークホルダーの皆様の個人情報の適切な管理と保護を行い、その信頼にお応えいたします。

### ○ 基本方針

- 当社は、シール印刷等、当社の業務を遂行するために個人情報を取得する際には、利用目的を具体的に特定し、その利用目的の範囲内で利用及び提供を行います。  
また、本人から同意を得た利用目的を超えた利用又は提供を行う場合は、事前に本人の同意を得るものとします。
- 当社は、個人情報の取り扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守いたします。
- 当社は、当社が取り扱う個人情報の漏えい、滅失、き損及び個人情報への不正アクセスを防止するとともに、それら個人情報保護対策の是正に努めます。
- 当社は、当社が取り扱う個人情報に関する個人情報相談窓口を設置し、苦情、相談、及びその他問い合わせに適切に対応いたします。
- 当社は、個人情報保護の活動を日々向上させるために、個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善を行います。

制定日：2002年11月11日  
改訂日：2006年10月10日  
シーレックス株式会社  
代表取締役社長 栗原 敦

# 社会性パフォーマンス

## 人財の開発・育成 -創造の源泉は人-

シーレックスは、シーレックスで働く人は「人材」ではなく「人財」とであると、これまで人のもつ無限大の可能性を信じて「企業の競争力の源泉は人」「一人ひとりの成長の総和が企業発展の基盤」という考えのもと、人を機軸においた経営、人を育てていくことを重視した経営を貫いてきました。「創造の源泉は人」人財の開発・育成にこれまで以上に取り組んでいきます。

### 2009年度人財育成

“全社員が学び「自立」する”が2009年度経営計画の人財育成の重点目標でありました。特に人財育成の要になる、参事・主管職のレベルアップを図りました。

教育内容として、人事制度の根幹となる「新能力考課制度」の導入研修とコンプライアンス教育を継続して実施しました。2009年度の主な内容は次の通りです。

#### 管理職研修

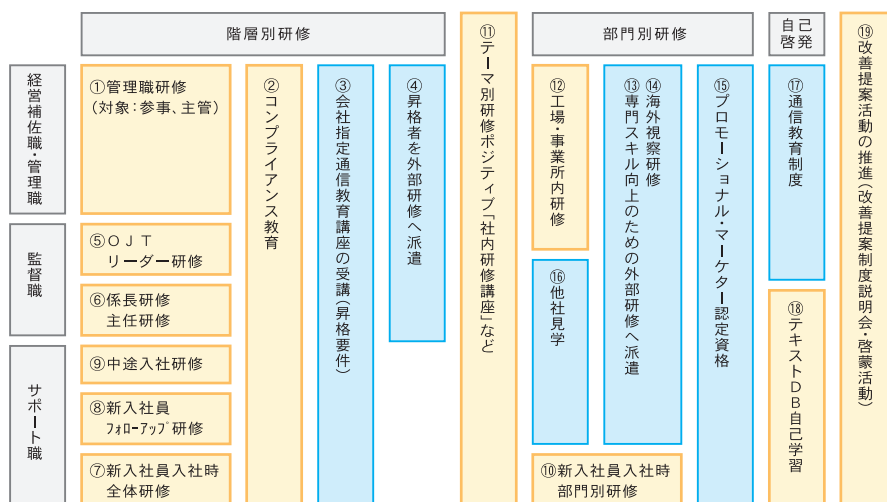
2009年度は新しく取り入れた「能力考課制度」について「部・課長」に説明を行いました。能力考課は目標管理項目と連動し、上司が部下を日々指導した結果、部下の能力がどの位向上したかを測るものであり、人財育成を目的としていることが周知されました

#### テーマ別研修

外部から講師を招聘し、本社営業、部・課長を対象とし、『不況時に会社の業績を伸ばすためには』をテーマにした研修を実施しました。CHANGE(変える)をキーワードとし、不況を乗り切るためにリーダーがどのような変わっていかなければならないか、学びました。

#### 新入社員研修 フォローアップ研修

4/1-4/3の3日間、本社で5名の入社時の集合研修を行いました。「シーレックスの歴史」「コミュニケーション講座」「就業規則」「コンプライアンス教育」等、教育プログラムに則り実施しました。また、10/16-10/17に兵庫工場フォローアップ研修を実施しました。「仕事の進め方の基本(ビデオ視聴、質疑応答)



「グループワーク(できたこと、できなかったこと、今悩んでいること、今後の目標)」および工場見学を行い理解を深めました。

#### 通信教育講座

2009年度自己啓発の通信教育に合計で159名受講しました。また、当社では会社が指定した通信教育講座の終了を昇格要件のひとつとしています。この、通信講座には10名が受講しました。

#### 改善提案制度

2009年度(1~12月)に提出された改善提案件数は、2,613件でした。工場では1人、毎月1件ペースで提出されています。現場の気づきと創意工夫が「ちょっとした違いを創り出す」源泉であります。今年度も継続して取り組んでいきます。

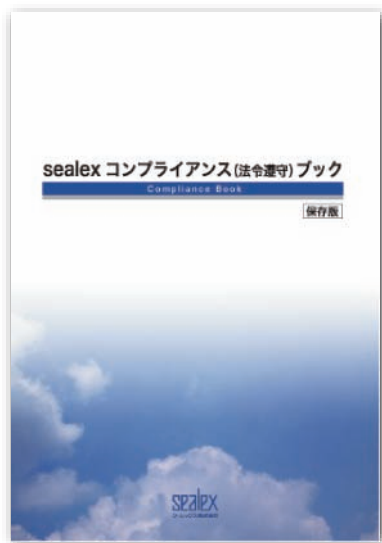


## 安全で安心な職場環境の実現（社員とともに）

従業員に対する最も基本的な責任として、安全で安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいます。

### ● 基本的人権の尊重

あらゆる場面において個人の尊厳の確保に取り組むこと、および、人種、民族、国籍、宗教、性別、身体的特徴などを理由とした不当な差別をいっさい行わないことを「シーレックス・コンプライアンスブック」に明記しています。セクシャルハラスメントおよびパワーハラスメントの防止などを含めた基本的人権の尊重については、管理職教育のなかで啓発活動を継続しております。



● 法令遵守ブック

また、セクハラ防止のための方針に基づき、就業規則で懲戒対象とするほか、相談窓口を設置するなど、問題の解決や防止に努めています。

### ● 労働安全衛生

労使による安全衛生委員会（衛生委員会）を設置し、定期的な安全教育、安全対策を実施することで、労働災害の撲滅をめざしています。特に、製造部門では安全ヒヤリハットでの意見収集、安全リスク評価と対策を実施しております。労働災害の件数も低下傾向にあり、2009年度も休業災害はありませんでした。

労災事故「ゼロ」の実現、「危険ゼロ」への挑戦へ今年度も取り組んでいきます。

	労働災害件数	休業災害
2007年	8	1
2008年	9	0
2009年	6	0

● グループ会社含む

### ● 健康管理・健康増進

疾病の予防と早期発見、健康の保持増進を目的に定期健診を行い、有所見者のうち早期の生活改善が有効な従業員に対し、産業医、管理栄養士による健康指導を行っております。



また、喫煙は様々な疾患の発症・進展のリスク要因となります。禁煙を実施することで、リスクの抑制する事につながります。当社では目標管理制度に禁煙加点を組み入れ、制度の運営を行っております。喫煙率は38.0%と2年前より改善されております。

### ● AED（自動対外式除細動器）

2007年度に導入したAED（自動対外式除細動器）の取扱いについて、「助かる命を助けるため」をスローガンに、「普通救命講習会」を開催しました。講習会受講修了者は90名に増えました。



### ● 防災対策

シーレックスは災害が発生した時の従業員および顧客の安全確保、家族への支援、地域住民への支援と事業所の復旧対応を目的として、事業継続計画（BCP）を策定しています。2008年1月には首都圏直下型地震・12月には新型インフルエンザを想定したBCPを策定しました。

また、不幸にも被災した場合は、被害を最小限に留めるためには、被災状況をいかに迅速・確実に把握して、どれだけ早く企業活動を復旧させるか、従業員とその家族の安否が確認する「安否確認」システムの導入を図りました。

2009年度はBCPの整備が主となり、具体的な訓練に至りませんでした。今年度はシーレックス事業計画継続書に沿った訓練の実施と運用の見直しを行い事業継続マネジメント（BCM）として展開してまいります。



● サバイバルカード



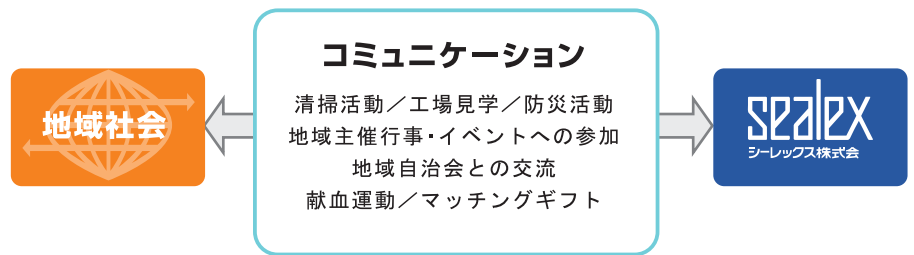
● あんびくん

## 社会・地域社会貢献活動（地域とともに）

私たちは、良き企業市民として、地域の皆さまと良好な関係を築き、地域社会との共生を図っていくことが重要な活動と捉えています。地域に根ざした企業を目指し、事業の拠点となる各地でさまざまな社会貢献をおこなっています。

### ◎ 地域社会との共生

シーレックスは、さまざまな活動を通じて、地域社会とのコミュニケーションを深めています。環境美化の一環として清掃活動、工場見学や実習生の受け入れ、地域主催のイベントへの参加など地域に根ざした活動を積極的に展開しています。



### ◎ ボランティア活動

広島営業所では2007年7月からハイブローズ広島という広島市内の電動椅子チームのサポート活動をしています。営業所でも何かCSR活動ができないかと探していたところ、ホームページでボランティア募集の記事を見つけて連絡をとったのが始まりです。選手は小児マヒや脊髄損傷、筋ジストロフィーなどの重度の障害を抱えていて、通常の車椅子の操作はできないため、全員電動タイプに乗りアゴや足の指先などで車椅子を操作しています。そんな彼らの練習時のお手伝いが主な内容です。3年が経過、電動車椅子サッカー

ー中国ブロック協会の審判講習にも参加し広島で開催される大会などで副審や記録員をし

たり、介護的な役割も多くなり食事の介助、トイレの介助も行っています。



### ◎ 清掃活動

シーレックスは、2008年度に5月30日を『ゴミゼロ』と名づけ、全国一斉に約400名による清掃活動を行っています。この日以外でも各地域で定期的に事業所周辺の清掃活動を実施し、2009年度は延べ1,300名が環境保全活動に参加しました。



本社



大阪支店・SLX大阪



東北営業所・東北工場



福岡営業所



兵庫工場



名古屋営業所



京都営業所



広島営業所



東京工場

# 社会性 パフォーマンス

## 工場見学

シーレックスは、地域とのコミュニケーションを大切に、そこで暮らす子どもたちの笑顔、そして未来を応援しています。工場では地域の皆さまにより親しんで頂けるよう工場見学などに積極的に取り組んでいます。



●兵庫工場を見学する特別支援学校の生徒たち



●生徒たちからのお礼

## マッチングギフト

シーレックスでは、毎年『NHK歳末たすけあい募金』に参加をしています。今年も従業員と会社からのマッチングギフトとして寄付しました。



## エコキャップ運動の推進

この運動は、飲み終わったペットボトルのキャップを回収し、その売却金で世界の子どもたちにワクチンを届ける運動です。同時に、キャップを再資源化することでゴミの削減にもつながります。シーレックスは、『地球に愛を、子どもに愛を』エコキャップ運動に取り組んでいます。



## 使用済み切手 テレホンカードの回収

名古屋営業所では使用済み切手・プリペイドカード、ベルマークを集めています。回収した物を団体に寄付することにより、アジア・アフリカの植林活動、途上国の子供たちへのワクチン確保等の支援活動に充てられます。



## 献血

本社、兵庫工場、東北工場では毎年献血活動を実施しています。



## 利府リトルリーグ

選手の名前入りシール  
東北工場では、地元利府町のリトルリーグの大会に選手たちの名前が入ったシールを贈っています。これから羽ばたいてゆく子どもたちの思い出づくりに、少しでもお役に立てれば嬉しいと思います。



## 朝来市たたらぎ湖マラソン

朝来市の「第5回たたらぎ湖マラソン」は、東京から熊本まで全国から約2300人が参加、ダム湖外周約21.1km（ハーフマラソン）を走ります。兵庫工場は第1回から給水ボランティアに参加しております。





シーレックスグループは常に「“かけがえのない地球”の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責務」とし、環境と調和した循環型社会をめざし、グループ全体が共通認識のもと環境保全活動を推進しています。

## ● 環境マネジメント活動

私たちは、1999年4月にISO14001の認証を取得して以来、環境保全活動を重要なテーマとして取り組んでいます。関連会社を含めた11事業所で環境マネジメントを推進しています。



**QMS、EMS**  
ISO 9001  
ISO 14001  
JSAQ1406、JSAE109

### 『環境経営の推進』

2009年の経営方針に『環境経営』を掲げ、全員で取り組んでいます。

『環境経営』とは、製品開発・設計から生産・販売の全ての部門で徹底したムダ（経費と資源、エネルギー）を排除し、会社に埋まった『利益』を掘り起こしていくことです。

『環境経営行動基準10か条』を設定し、REDUCE（リデュース）活動を全員で推進しています。事業所毎に毎月のリデュース結果をグラフ化した「グリーンコミュニケーション」を発行し、全員で取り組みました。

## ● 環境教育

社内報【みな知ール】環境化学物質管理編



## ● チャレンジ25

### 【環境提案】

毎年、7月を環境提案月間と定め、従業員からいろいろなアイデアを募集しています。2009年度は「ムダ」を取り除く、「リデュース（減らす）」をスローガンとしました。生活に根ざした提案も含め50件の募集があり、環境経営の推進に効果を上げました。

### 【クールアースディ】

クールアースディは、地球温暖化防止のための新たな国民運動『チャレンジ25キャンペーン』。毎年6月21日（夏至の日）と7月7日（七夕）を「CO2削減ライトダウンキャンペーン」として、夜8時～10時までの2時間の「ライトダウン」を従業員に呼びかけています。

ン」として、夜8時～10時までの2時間の「ライトダウン」を従業員に呼びかけています。

### 【クールビズ・ウォームビズ】

温室効果ガス削減のために、オフィス内の温度を夏場は28℃、冬場は20℃に設定しています。

オフィスで少しでも快適に過ごすために、シーレックスはクールビズとウォームビズを積極的に取り入れています。社内での服装は、年間を通して、ノーネクタイを推奨しています。



## ● 化学物質管理

世界中で輸入・輸出に対する規制が厳しくなる中、シーレックスでも使用禁止化学物質の管理については十分配慮おこないます。法令の遵守は勿論のこと、お客様の要求にお応えできる管理体制を今後も整えてまいります。



### 化学物質

**REACH規制(新化学品規制)**

**RoHS(有害物質使用規制)指令**

## ● グリーン購入の推進

私たちは、会社で使う文房具や備品の購入には、環境に負荷の小さい製品を優先的に購入しています。

自社基準として『シーレックスグリーン購入ガイドライン』を策定し、その中より購入業者や環境配慮型製品を選定し、それを使用しています。



## ● エコドライブ推進

ECOドライブガイド10のカードを作成でエコドライブを推進しました。エコドライブチェックで燃費UPの啓蒙を行い、ガソリン使用量のREDUCE(リデュース)に寄与しました。



## シーレックス環境方針

### ○ 基本理念

シーレックスは常に「かけがえない地球」の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責任であり、義務である」を念頭におき、環境と調和した循環型社会をめざし、事業活動のあらゆる面で、環境保全に配慮し行動します。

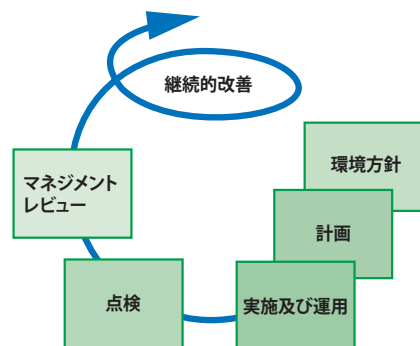
### ○ 基本方針

1. シーレックスは事業活動において地球環境の保全を推進するため、組織を整備します。
2. 事業活動が環境に与える影響を捉え、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、環境保全活動を推進し、継続的改善を図り、環境汚染の予防に努めます。
3. 環境関連の法律、規制および協定などを遵守するとともに、自主管理基準を設定し環境保全に取り組みます。
4. 事業活動の全領域で省エネルギー、省資源、リサイクル、廃棄物削減に取り組みます。
5. 環境に配慮した商品づくりおよび技術開発を行うとともに、グリーン調達の推進を図ります。
6. 環境監査を実施し、環境管理の維持向上に努めます。
7. 環境教育を実施し、全社員の環境方針の理解と、環境に関する意識向上を図ります。
8. 社会とのコミュニケーションに努め、地域社会の環境活動に、積極的に貢献します。

## ● 環境マネジメントシステムの推進



## ● PDCAサイクル



ISO14001環境マネジメントシステムモデルは組織がその環境方針を確立し、実施し、維持することができるようにする継続的な繰り返しのプロセスであります。

Plan: 継続的な計画のプロセスを確立する

Do: 環境マネジメントシステムを実施し運用する

Check: 環境マネジメントシステムプロセスを評価する

Act: 環境マネジメントシステムを改善するためのマネジメントレビューを実施する

## ● エコプロダクト ・環境配慮型製品

BPペレット製品 ・ 生分解性プラスチックフィルム ・ 再生可能剥離紙



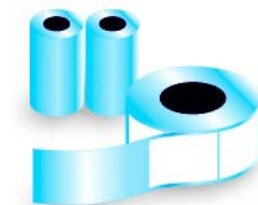
### 【BTペレット製品】

BTペレットは、「資源米」、「もみ殻」、「木粉」などの国産有機資源を主原料とし、ポリプロピレンを加え、特殊技術にて合成する純国産バイオマス。再生可能な植物であり、国内で利活用されていない有機資源を主原料としているので、石油相場に影響される従来のプラスチックとは違い、安定供給が可能です。もちろん、カーボンニュートラルで焼却処理された場合でも、CO2の排出量を削減し、また石油資源の使用量を節約することができます。



### 【生分解性プラスチックフィルムラベル】

ラベル素材と糊の両方が植物由来の原料をベースに作られています。そのため、石油などの枯渇資源である化石資源の保護に貢献します。また、焼却時に有害物質を発生する危険がなく、使用熱量やCO2発生量も抑制し、さらに廃棄後の環境負荷も軽減します。



### 【再生可能剥離紙】

ラベルを使用した後に残る剥離紙は、ポリエチレンがラミネートされているために再生できず、産業廃棄物として扱われてきました。しかし、再生可能剥離紙は新聞・雑誌と同じく、一般の古紙として再生処理が可能です。産業廃棄物の削減、リサイクル推進の観点から注目を集めています。



## ● 環境ビジョン2009年度評価

シーレックスは、環境方針の基本理念を達成するために具体的な目標を立て取り組んでいます。

評価基準: 数値化目標については下記の基準で評価

S: 目標を十分に達成した A: 目標を達成した B: 目標が達成できなかった C: 目標を大きく下回った

方針	目標	評価
法規制の遵守	水質検査を定期的に行い、水質基準を守る	A
	騒音・振動の定期測定を行い、基準を守る	A
	特別管理産業廃棄物の管理を継続的に行う	A
	使用禁止化学物質の購入管理を継続的に行う	A
産業廃棄物の削減およびリサイクル率の向上	排出量を売上げ原単位で2006年度対比5%削減する	A
	リサイクル率を98%以上にする	A
省資源の推進	材料在庫金額を2007年度対比25%削減する	A
	製品在庫金額を2007年度対比20%削減する	A
環境配慮型製品の拡販	多層ラベルの販売額を2006年度対比10%増やす	B
グリーン購入・調達推進	グリーン購入ガイドラインに沿って購入を行う	A
	再生可能剥離紙の使用を2006年度対比10%増やす	B
CO <sub>2</sub> の削減	CO <sub>2</sub> の排出量を売上げ原単位で2006年度対比3%削減する	A

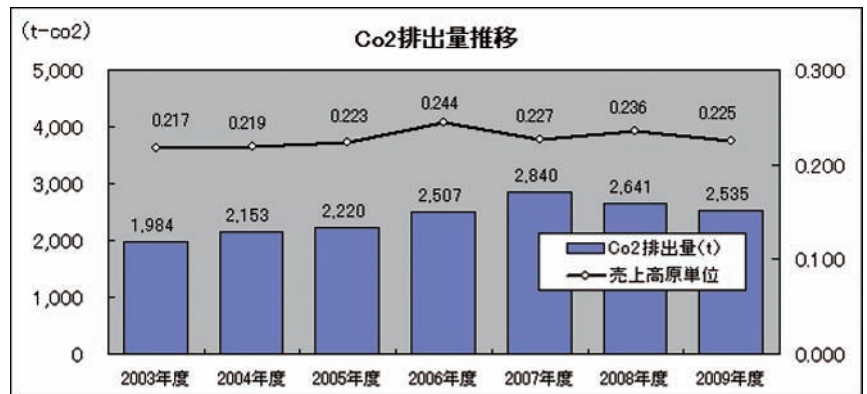
省エネルギー・省資源をはじめとする環境負荷の低減に取り組んでいます。

## ● 省エネルギーへの取組み

2009年度のCO<sub>2</sub>の排出量は前年対比で約4% (106t-co<sub>2</sub>)の削減が出来ました。売上げ原単位においても目標に対して107.9%と大きく達成することが出来ました。今後も引き続き、こまめな節電やエコドライブを推進し、低炭素社会への貢献に取り組めます。

CO<sub>2</sub>の算出は環境省の計数に基づく。

エネルギー: 電気・ガソリン



## ● 廃棄物の再資源化への取組み

シーレックスは、“産業廃棄物の削減”と“リサイクル率98%以上”を目標に取り組んでいます。工場から排出されるゴミは、徹底した分別管理を行うことにより、固形燃料(RPF)や有価物として生まれ変わります。これらは、再び資源として活用されています。

今年度もリサイクル率98.2%と高い結果を維持することが出来ました。

排出量は、前年比89.0%(▲144t)。売上げ原単位目標も107.8%と達成することができました。今後も継続して、リサイクル率の維持と廃棄物の排出量の削減に取り組んで参ります。

